

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛先) 京都府知事		平成24年 7月31日
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 京都府福知山市長田野町二丁目21		氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名） 武田ヘルスケア株式会社 代表取締役 石塚 憲三
環境マネジメントシステムの名称	環境マニュアル JIS Q14001:2004/ISO 14001:2004	
適用範囲	武田ヘルスケア株式会社（福知山市長田野町二丁目21番地及び20番地）でのあらゆる活動、製品及びサービス	
導入年月日	<登録日> 平成19年 11月 16日	
認証番号	07ER-674	
基本方針	武田ヘルスケア株式会社は、武田ヘルスケア コンプライアンス・プログラムに則り、かけがえない地球環境を守るために、全ての企業活動において環境への影響を重視し、社会的使命として積極的かつ継続的に、環境を保全し、環境マネジメントシステムを向上させます。	
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	<p><2012年度目標></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 省エネルギー（電気・ガス使用量の削減）：2009年度使用量の3%削減 2. 省資源（コピー用紙使用量の削減）：2009年度使用量の3%削減 3. リサイクル使用の推進（廃棄物のリサイクル率を77%）：リサイクル率の77%を検討し、少なくとも2009年度のリサイクル率を維持する 4. リサイクル使用の推進（グリーン購入推進）：常庫品中のグリーン・エコ商品比率51%を維持し、可能な限りグリーン・エコ商品購入を推進する 5. 廃棄物の低減：2009年度廃棄物量の3%削減 6. 法規制の順守（工場排水の水質改善）：排水処理量を100m³/日以下で維持する 	
目標を達成するための取組の内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 全員参加の環境活動手順書の100%順守 2. コピー用紙の裏刷り・没紙使用・両面印刷・PDFによるペーパーレス化 3. 不要照明、OA機器の停止・空調機の効率的運転・安定生産による稼働時間短縮 4. 分別廃棄表での順守・包装材料のリサイクル・ポリ袋のリサイクル化検討・シュレッダースト、新聞、雑誌のリサイクル 5. 廃糖衣液の削減・秤量袋の適正化・包装材料の削減 6. 節水の啓発・切替え洗浄時の洗浄水削減など 	
目標を達成するための取組の進捗状況	各部門共、全員参加の活動手順書の順守に併せて、部門として不要用役機器の停止・徹夜作業時の不要空調機の停止・空調設備の系列単位運転の実施・試験省略の実施等の電気・ガス使用量削減に取り組んだ。また、無駄なコピーの防止、両面印刷の推進、裏刷り紙の使用を推進、廃棄物としては、金属・ガラス瓶・コピー用紙・新聞・雑誌類・ダンボール・試薬瓶・包材紙管の継続的なリサイクル処分の実施、廃糖衣液の継続的な削減等を実施した。また、埋立処分していた不燃物の一部（廃プラスチック類）について、リサイクル処分に変更するため、委託先業者の調査選定を行った。（2012年4月より有価売却品及びリサイクル処分品に分別し、処分を開始）	
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	「全員参加の活動手順書」を順守し、全社の環境目的（省エネルギー・省資源・リサイクル使用の推進・廃棄物の低減・法規制の順守）達成のため、各部門共、部門の目的目標を設定し、概ね計画通りに取り組んだが、省エネルギー（ガス使用量の削減）及び省資源（コピー用紙使用量の削減）については、目標未達となった。	
事業活動に係る法令の遵守の状況	毎年4月に関連する環境法規制の順守を定期的に評価するため、ISO事務局が「環境法規制等登録表」に従い法規制が順守されていることを評価し、環境管理責任者に報告する。平成23年度の評価結果は、届出の遅れ、遅延等の発生もなく問題ない結果であった。	
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	毎年5月に、社長による環境マネジメントレビューを受ける。環境方針、並びに目的及び目標に変更はないが、省エネルギーについて、生産稼働日数に比例して、電気、ガス共、同等の増加が見込まれるところ各部門努力により、電気については、目標を達成できたものの、ガスについては、増加率が乖離しており、現状では、増加原因が不明であることからガス使用量の増加原因を調査するよう指導を受けた。	

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムの内容について第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。